

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	建築企画小委員会		主 査 名：増淵昌利 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：野城智也 主 査 名：
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 建築行為の初動時に光を当てた「失敗しない建築企画」を出版する。 初年度：研究方向を議論する。プロジェクト企画事例を公開研究会で取り上げる。 2 年度：大会でパネルディスカッションを開く 3 年度：研究協議会を開く 4 年度：出版する		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：⑥		
	主査：増淵昌利 幹事：上田正人 (阪急設計) 所千夏 (アトリエCK) 委員：飯田匡 (阪大) 柏原士郎 (阪大) 阪田弘一 (京都工芸繊維大学) 高井宏之 (名城大学) 高田光雄 (京都美術工芸大) 田中直人 (島根大) 生川慶一郎 (京都美術工芸大) 野澤英希 (愛知工業大) 平山英 (大阪府)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2020 年度予算	65,00 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	「京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」公開研究会 (開催日未定)
大会研究集会	<del>1. (名称) 参加者数 名</del> <del>(資料名)</del>
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 学術委員会の指摘をうけ、失敗学を参考にして、研究目標を議論した。 2. 建築学会シンポ (コロナ、対話と合意に基づく火災安全設計、他) で学んだ。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 外部講師を招くなどして、防災、構造、環境などを学ぶことが未着手のまま。 2. 建築行為の中で建築主の演ずる役割が大きいことに光をあて、市民の建築的 教養を高めておくツールとしての簡単解説本を目指すことを再確認する。